



主な内容

特集	1~2
子育てサポーター	
トピックス	3~4
●新型コロナウイルス 正しい知識で、正しく防ぐ Vol.6	
●インフルエンザの予防接種を受けましょう	
●11月は児童虐待防止推進月間ですなど	
まちがいファイブ	5
情報ステーション	6~11

*最終ページは人口データと若松区の情報

関連情報は
3ページへ

～新型コロナウイルス感染拡大防止のために～

- 「自分が感染しているかもしれない」という意識を常に持ちましょう。
- マスク、手洗い、人との距離、3密の回避など、「新しい生活様式」を実践しましょう。

北九州市新型コロナ
ウイルス相談ナビダイヤル
☎0570・093・567
☎522・8775

世代を超えて

支える! つなげる!

「子育てサポーター」

「子育てのこと、誰かに相談したい」、「誰に相談すればいいのかわからない」。

そんな不安や悩みに寄り添ってくれる、子育てサポーター。子育て世代からシニア世代まで、幅広い世代の皆さんが参加しています。

「子育てサポーター」

「子サポ」とは?

地域の子育て支援を担う市民ボランティアです。
身近な市民センターに登録し、
毎月1～2回実施する子育てイベントや、
日ごろの悩み相談などを通じて、
子育て中のパパ・ママを
応援しています。



特集 子育てサポーター

市長からのメッセージ

平成16年(2004年)にスタートした「子育てサポーター」制度は、「学び」をまちづくりに生かす生涯学習の取り組みの一つです。地域の皆さんが各区で実施する研修を受講し、市民センターに子育てサポーターとして登録、活動しています。

今年8月時点の子育てサポーター登録者は、子育てを終えたシニア世代を中心に1500人以上を数え、地域の「教育力」「見守り力」に大きな役割を果たしています。

「自分の子育て経験を生かして、親子の悩みを温かく受け止めたい」「初めての孫との接し方を学ぶ意味でも、若い親子と交流したい」など、さまざまな思いから活動に加わった皆さんは、サポーターの活動に手応えを感じ、新たなやりがいを得たと話しています。また子育てサポーターに支えてもらった皆さんが数年後に「ご恩返しを」とサポーター登録するなど、活動の成果を次世代につなぐような循環も生まれています。

利用する親子はもちろん、地域にも喜ばれ、登録者のやりがいにもつながる子育てサポーター制度は、「オール北九州」で子どもの成長を応援する本市の姿勢を象徴する取り組みと言えます。今後とも地域の力で、子育て世代を応援していきましょう。

北九州市長 北橋 健治



詳しくは2ページで紹介します